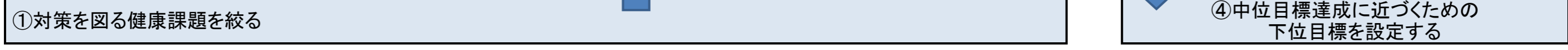
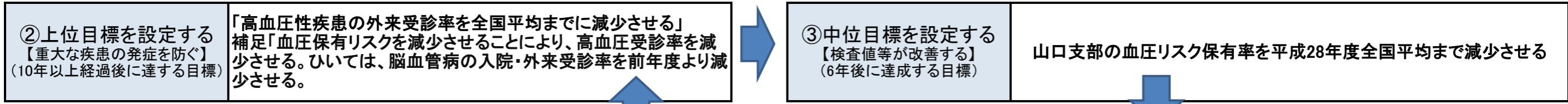
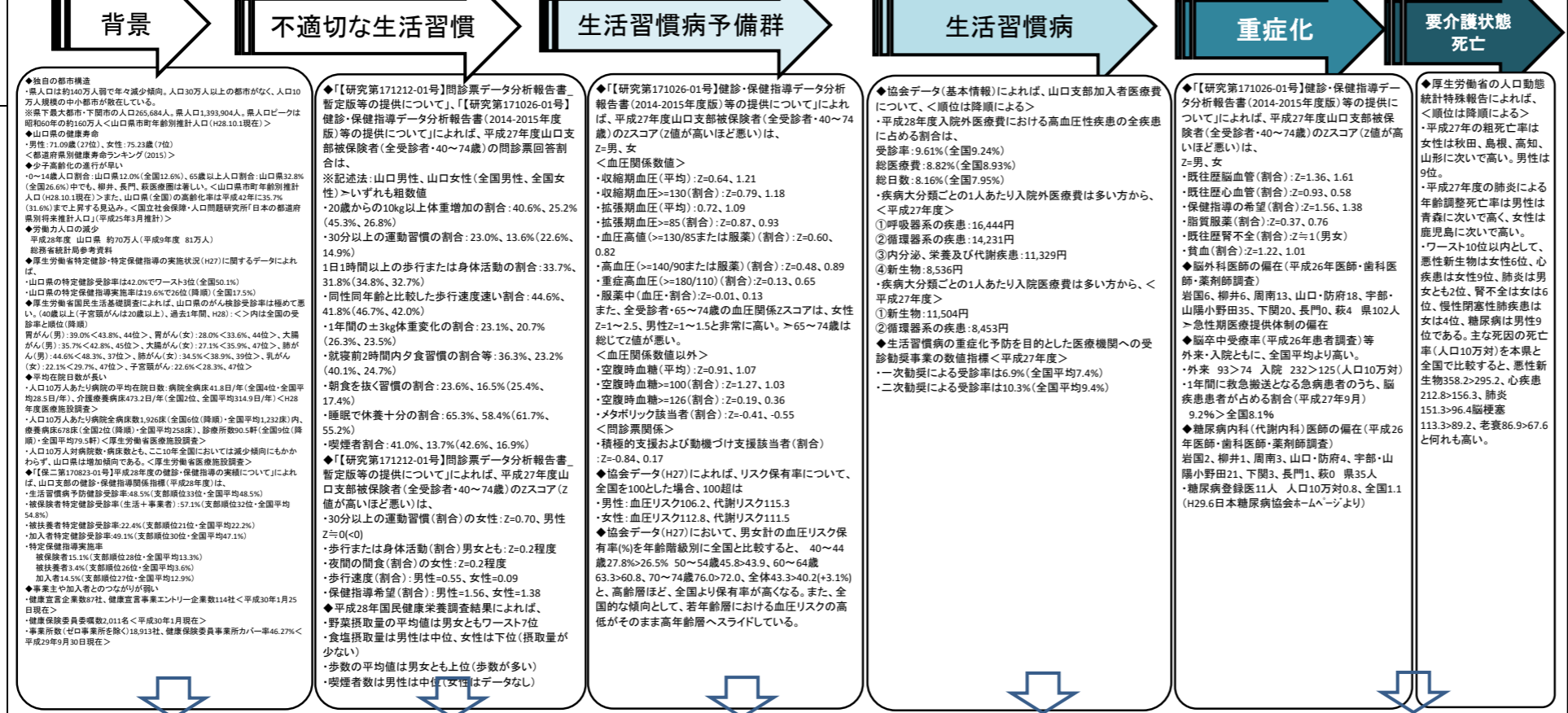


第2期保健事業実施計画(データヘルス計画) 健康課題、目標をイメージするシート



生活習慣や実施率等がどのように変われば期待する成果に近付けるか?(数値目標)



生活習慣病予防健診実施率が低い	生活習慣病予防健診実施率が低い	生活習慣病予防健診実施率が低い	生活習慣病予防健診実施率が低い	生活習慣病予防健診実施率が低い
特定保健指導実施率が低い	特定保健指導実施率が低い	特定保健指導実施率が低い	特定保健指導実施率が低い	特定保健指導実施率が低い
特定保健指導希望者が割合が極めて少ない	特定保健指導希望者が割合が極めて少ない	特定保健指導希望者が割合が極めて少ない	特定保健指導希望者が割合が極めて少ない	特定保健指導希望者が割合が極めて少ない
協会保健事業の認知度向上	協会保健事業の認知度向上	協会保健事業の認知度向上	協会保健事業の認知度向上	協会保健事業の認知度向上
健診について(山口支部の特徴)	健診について(山口支部の特徴)	健診について(山口支部の特徴)	健診について(山口支部の特徴)	健診について(山口支部の特徴)
(1)経年的未受診者が多い 17%(8,600人/50,660人)	(1)経年的未受診者が多い 17%(8,600人/50,660人)	(1)経年的未受診者が多い 17%(8,600人/50,660人)	(1)経年的未受診者が多い 17%(8,600人/50,660人)	(1)経年的未受診者が多い 17%(8,600人/50,660人)
内訳~ 過去3年未受診 ...6%、3年以上前から未受診 ...11%	内訳~ 過去3年未受診 ...6%、3年以上前から未受診 ...11%	内訳~ 過去3年未受診 ...6%、3年以上前から未受診 ...11%	内訳~ 過去3年未受診 ...6%、3年以上前から未受診 ...11%	内訳~ 過去3年未受診 ...6%、3年以上前から未受診 ...11%
残る32,000人は、断続的受診者 となる	残る32,000人は、断続的受診者 となる	残る32,000人は、断続的受診者 となる	残る32,000人は、断続的受診者 となる	残る32,000人は、断続的受診者 となる
(2)受診場所の構成が、個別機関・集団健診で拮抗(H28 6,000:5,200%)しているが、受診時期が偏っている(※4,400が1~2月集団健診会場)	(2)受診場所の構成が、個別機関・集団健診で拮抗(H28 6,000:5,200%)しているが、受診時期が偏っている(※4,400が1~2月集団健診会場)	(2)受診場所の構成が、個別機関・集団健診で拮抗(H28 6,000:5,200%)しているが、受診時期が偏っている(※4,400が1~2月集団健診会場)	(2)受診場所の構成が、個別機関・集団健診で拮抗(H28 6,000:5,200%)しているが、受診時期が偏っている(※4,400が1~2月集団健診会場)	(2)受診場所の構成が、個別機関・集団健診で拮抗(H28 6,000:5,200%)しているが、受診時期が偏っている(※4,400が1~2月集団健診会場)
(3)H29会場(32)のうち、9会場はキャバオバーを起こしている	(3)H29会場(32)のうち、9会場はキャバオバーを起こしている	(3)H29会場(32)のうち、9会場はキャバオバーを起こしている	(3)H29会場(32)のうち、9会場はキャバオバーを起こしている	(3)H29会場(32)のうち、9会場はキャバオバーを起こしている
受診者が、集団健診への抵抗感がないならば、最大限、会場数を増やす	受診者が、集団健診への抵抗感がないならば、最大限、会場数を増やす	受診者が、集団健診への抵抗感がないならば、最大限、会場数を増やす	受診者が、集団健診への抵抗感がないならば、最大限、会場数を増やす	受診者が、集団健診への抵抗感がないならば、最大限、会場数を増やす
保健指導について(山口支部の特徴)	保健指導について(山口支部の特徴)	保健指導について(山口支部の特徴)	保健指導について(山口支部の特徴)	保健指導について(山口支部の特徴)
(1)受け入れ事業所側が少ない	(1)受け入れ事業所側が少ない	(1)受け入れ事業所側が少ない	(1)受け入れ事業所側が少ない	(1)受け入れ事業所側が少ない
(2)事業所側の保健指導に対する理解度が、極めて低い(保険者側の問題大きい)	(2)事業所側の保健指導に対する理解度が、極めて低い(保険者側の問題大きい)	(2)事業所側の保健指導に対する理解度が、極めて低い(保険者側の問題大きい)	(2)事業所側の保健指導に対する理解度が、極めて低い(保険者側の問題大きい)	(2)事業所側の保健指導に対する理解度が、極めて低い(保険者側の問題大きい)
健康宣言企業数・健康保険委員会数が少ない	健康宣言企業数・健康保険委員会数が少ない	健康宣言企業数・健康保険委員会数が少ない	健康宣言企業数・健康保険委員会数が少ない	健康宣言企業数・健康保険委員会数が少ない

健康宣言企業数の拡大	運動習慣・食生活改善に向けた健康づくりへの取り組み	未治療者への受診勧奨	重症化予防事業	加入者の健康づくりに資する情報提供
生活習慣病予防健診実施率の向上	特定保健指導実施率の向上	健康宣言企業、健康保険委員会を通じた健康づくりの増進		

事業名	優先順位	下位目標	実施年度
健診事業	1	令和5年度の特定健診受診率を65%以上にする。	H30~R5
特定保健指導	1	令和5年度特定保健指導実施率を35%にする。	H30~R5
重症化予防	1	受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合を12.9%以上とする。	H30~R5
	2	糖尿病性腎症による人工透析移行者を減少させる。	H30~R5
コラボヘルス	1	健康宣言企業を毎年度200社増やすとともに宣言企業における健診、特定保健指導等の指標を向上させる。	H30~R5
	2	健康保険委員会嘱託企業における健診、特定保健指導等の指標を向上させる。	H30~R5